

教育プログラム・コースの概要

大学名等	名古屋市立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	新治療開発コース（大学院正規課程）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、薬剤師						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	大学院正規課程で腫瘍学の基礎研究を学び、がんゲノム医療・コンパニオン診断薬・個別化診療、がん免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤含む）、CAR-T療法などの先進的ながん診断・治療に精通し、がんの創薬研究や次世代のがん診療の開発に寄与する人材。						
修了要件・履修方法	専門科目、共通科目、特別研究にて合計30単位を修得し、かつ中間発表会を経たうえで、最終試験及び博士論文に合格すること。						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目：共通科目として「先進的がん診療特論・がんプロフェッショナル養成コース（仮）」の選択を必須とし、15回の講義・演習（1講義1.5時間）のうち11回以上に出席（2単位）。本コースにはがんゲノム診断病院実習（1.5時間）、がん免疫チェックポイント阻害剤病院実習（1.5時間）、CAR-T療法病院実習（1.5時間）を含む。 ・選択科目：生体情報・機能制御医学講Ⅲ（緩和医療）（2単位）、「生体防衛・総合医学講座Ⅱ：発がんメカニズムからがん関連学際領域、チーム医療の実践・がんプロフェッショナル養成コース（仮）」（2単位）ほか14科目 ・人を対象とする臨床研究は、参加施設の生命倫理委員会の承認を得た後に、関連するガイドラインに則り進める。公正研究・生命倫理・情報セキュリティ・利益相反に関する講義の受講を必須とする。 						
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）、がん専門薬剤師（日本医療薬学会）、薬物療法専門薬剤師（日本医療薬学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・「先進的がん診療特論・がんプロフェッショナル養成コース」は、本事業において正規課程として新規に設置する。講義形式に加えて、本学附属病院において、がんゲノム診断、免疫チェックポイント阻害剤、CAR-T療法について実臨床の現場で実習を行い、実臨床から見た先進的がん診療の意義と課題を学ぶ機会を設ける。特に、免疫関連有害事象（irAE）やサイトカイン放出症候群（CRS）、免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群（ICANS）発症例などのメカニズムや対策などを症例検討を行う。 ・「発がんメカニズムからがん関連学際領域、チーム医療の実践・がんプロフェッショナル養成コース」は、これまでの既存科目に多職種チーム医療による集学的な治療・ケア、緩和医療・終末期医療、循環器腫瘍学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学など学際領域を発展的に取り入れて大幅に再編成した新規科目である。 ・参画大学間のネットワークを活用して研究情報の共有及び集約、若手研究者の研究室間の相互交流によって有機的な連携体制が期待できる。 ・多発性骨髄腫などに対するCAR-T療法は全国的にもトップレベルの実績があり積極的にベットのサイトと研究室での経験が可能である。 ・講義をオンライン化してオンデマンド配信することで、社会人大学院生が受講しやすい環境を整備する。全国的にも著名な外部講師を積極的に招聘する。 						
指導体制	専門科目の担当教員、本事業の担当教員ならびに学外招聘教員によるオンバス講義を行う。						
修了者の進路・キャリアパス	がんに関する専門資格を取得し、創薬研究や新治療の開発を行う大学やがん専門施設におけるチーム医療または研究チームのリーダーとして活躍が期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		7	7	7	7	7	35
受入目標人数設定の考え方・根拠	これまでの大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度6人の希望者が見込まれるため、受入れ目標人数を7人と設定。						